

アカゲラ通信



旭山記念公園は部分開放となっております

2021年7月9日(金)お昼ごろ、旭山記念公園内でヒグマの目撃情報があり、専門家の調査により園内で新しいヒグマの糞が確認され、その日から公園は閉鎖となりました。

7月22日(木)に一度閉鎖解除となりましたが、24日(土)朝に再びヒグマが目撃され再閉鎖となりました。

8月14日(土)以降は「部分開放」となりましたが、指定されたエリア以外は立入禁止です(下図参照)。期間は今のところ未定です。駐車場開門時間は6時から22時です。ヒグマと人との事故を起こさないための措置であり、皆様ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

閉鎖バリケード
閉鎖ネット

○とーで囲まれた
内側部分が利用可
能エリアです

森の家休館
トイレ利用不可
電話応対
金、土、日、祝
10時~16時

旭山都市環境林も
閉鎖となっており、
そこを通る藻岩山
登山道も利用でき
ません(旭山記念公
園から藻岩山
に登ることは
できません)



噴水稼働中
噴水広場周辺
ご利用できます

レストハウス営業中
10時~17時
休憩スペース・トイレ
ご利用できます

旭山通信 ~レストハウスより 2021年8月

熊出没の7月...閉鎖が続きました...7月9日公園内に熊が出没し21日まで約2週間の閉鎖。22日に閉鎖解除になり、ショップもなんと5月2日以来の再開! それに合わせて期間限定熊缶バッジを作成し閉鎖解除を喜んでいましたが、24日にまた熊が出没、再閉鎖。そして8月14日に部分開放となり、レストハウスもショップを含めようやく通常通りのオープンとなりました。

近くの山に熊がいるとお客様に聞いてはいましたが、まさか公園内に出没するとはびっくり!! 成長した子熊は、1歳半または2歳半の夏頃に母熊から離れて独り立ちします。メスは母熊の近くで生活しますが、オスは母熊から遠く離れた場所へと移動。若い熊は市街地付近に迷い出してしまうこともあるそうです。

そんな熊が迷い込んでしまった旭山記念公園、札幌の中心部から車で約15分。自然を感じ、札幌の綺麗なまちなみを見渡した後は、旭山記念公園レストハウス ぽるくで休んでいいってください! お待ちしています!



旭山野鳥メモ⑨ クマタカ

クマタカ Mountain Hawk Eagle *Nisaetus nipalensis* タカ目タカ科

留鳥。旭山では南区の山に住むものと思われる個体が年に数回現れ、幼鳥が出たこともある。旭山で見られるとラッキー。タカ目の鳥の常として雌の方が雄より大きい。繁殖は隔年で行う。

日本最大の「タカ」であるが、ワシとタカの区別は必ずしも大きさで決まるわけではない。事実、クマタカは沖縄に生息するカンムリワシよりも大きい。しかし、英名"hawk eagle"とあるように、外国ではクマタカは「ワシ」の仲間と捉えられており、「世界で一番美しい鷲の図鑑」という写真集でも取り上げられている。それにならえば「クマワシ」となるはずか? ただ、ワシにしては小さいので英語では「タカ」="hawk"と名前に添えられたのかもしれない。

森林性の猛禽で森の生態系の頂点に立つ鳥。体の大きさの割に短めの翼で森の中を飛んで狩りをするともできる。人間活動とは距離を置く姿には威厳があり、自然の豊かさをもっとも感じられる鳥かもしれない。

そしてなぜクマ「タカ」なのか? 日本において、森林にすむ鳥であるから「ワシ」よりも「タカ」の方がイメージが湧きやすいのでは? やはり森の王者クマタカには「日本で一番大きな鷲」の地位がふさわしい。



センサーダラマに写った動物たち

ヒグマ出没による閉鎖期間中、旭山記念公園では何か所かにセンサーダラマをしかけていました。カメラの前で何かが動くと作動して静止画と動画を撮影するものです。

ヒグマは写っていましたが、エゾシカとキタキツネが毎日のように写っていました。

エゾシカ(下写真左)は母、昨年生まれの子、今年生まれの子の雌3頭の家族が見られたり、角が生え始めたばかりの雄の子が写っていたりと、人がいない公園でゆったりと過ごしているようでした。

キタキツネ(下写真中と右)は夜に写っていることが多いですが、昼間に開けた場所で寝たり歩いていたり、大人の個体も子どもっぽい個体もいて、やはり人がいないことで自由に行動していました。

エゾリスも写っていましたが、エゾリスだけは他の動物たちと違い、人がいないからといって以前よりよく見られるということではなく、同じように頻繁に見られていました。

そして不思議なことに(?!),公園閉鎖中にもかかわらず、人や犬も写っていました。



2021年7月閉園中の野鳥トピックス

今回はヒグマ出没による閉鎖期間中の野鳥の話題をまとめてみました。

- ・オオルリ:頭から胸がごま塩で羽がきれいに青い幼鳥が見られました
- ・コサメビタキ:森の家周辺と学びの森付近で親子で多く見られました
- ・キビタキ:囀りをやめてからあまり見られなくなりました(今年は少ない?)
- ・クロツグミ:遊具広場付近の笹藪にいる姿がしばしば見られました
- ・アオジ:幼鳥が巣立って見られる機会がまた増えてきました
- ・アオバト:ミュンヘンの森の桜をはじめ園内に来ていました
- ・クマゲラ:ときどき来っていました
- ・アカゲラ:幼鳥が見られました
- ・シマエナガ:期間中何度か園内でも見られましたがいつもいるというわけではないようです



コサメビタキ幼鳥↑



「アカゲラ通信」 第93号 2021(令和3)年8月9日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351